

2020年1月10日

副学長 竹尾 茂樹

「2018年度 明治学院大学外部評価委員会の提言」および
「2018年度外部評価委員会の提言について（回答）」の公表にあたって

明治学院大学では、自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、高い見識を有し、本学の設置目的に理解のある学識経験者等で構成する外部評価委員会を2008年度より設置しており、2018年度は11回目の外部評価委員会として2018年11月30日に開催しました。

今日のグローバル化の劇的な進行の中で、大学教育に求められている役割は一層複雑かつ高度なものになって来ています。本学は建学の中核であったJ.C.ヘボン博士の精神を引き継ぎ、地域社会から日本、さらに世界に開かれた関心とアプローチを持つ人間形成をめざして来ました。グローバルな視点を持った人材育成が本学の教育の特徴の一つでもあります。

そこで2018年度の外部評価委員会では、大学独自の特色ある教育の評価基準として「グローバルマインドの育成」を掲げ、各委員の立場からご意見やご指導をいただき、今後の検討の手がかりとさせていただくことといたしました。当日は活発な議論が行われ、本学にとって学びの多い機会となりました。

この度公開いたしました「2018年度明治学院大学外部評価委員会の提言」は、議論の結果を大野高裕委員長（早稲田大学 理工学術院教授）が提言として取りまとめ、本学に提出されたものです。また、提言の文中に提示されております数々の指摘については、学長の下、大学執行部会議や学部長会等の場において議論を重ね、その結果を「2018年度外部評価委員会の提言について（回答）」としてまとめました。

回答に記しました内容について、できるだけ早い時期の改善・実現に至るよう努めてまいります。学内外の関係者の皆様にもご承知おきいただければ幸いです。

以上